

11月1日 (土)

無実のゴビンダさんを支える会・学習会

許すな! 「ロス疑惑」 再燃!

～三浦和義氏に対する米当局の暴挙に、日本社会はなぜ怒らないのか～

「無実のゴビンダさんを支える会」の会員である三浦和義さんが、2月22日サイパンで「逮捕」されてから、すでに半年以上が経過しました。

その間、拘置所に身柄を拘束されたまま、サイパンでは保釈請求をめぐる審理(9月12日ロス移送決定・上告中)、ロスでは逮捕状が有効か無効かをめぐる審理(9月6日結審、9月26日決定)が、延々と続いています。

日本で十数年にも及ぶ裁判(起訴有罪率99.9%!)の末に、最高裁で無罪が確定した人(1000人に1人!)が、米警察により、もう一度、同じ罪状で「逮捕」され、米国で裁判にかけられようとしている。こんな理不尽がなぜまかりとおるのでしょうか?これほど重大な人権侵害や「一事不再理」を踏みにじる暴挙が許されるなら、日本の裁判とは、いったい何なのでしょう?

無実の人が、犯人視報道の末、晴れて裁判で無罪を勝ちとつても、なお「灰色無罪」とか「ほんとはやってるんだ」と世間で噂されるのは、決して三浦さん1人に限ったことではありません。これでは、警察・検察・裁判所・マスコミは、決して反省などしないでしょう。

冤罪を再生産し続ける日本社会のありかたが、今、問われているのです。

講師： 山口正紀氏(ジャーナリスト)

日時： 2008年11月1日(土)

午後1時半開場 2時～5時

会場： 港区立港勤労福祉会館・第1洋室

JR 田町駅三田 下車、徒歩5分

都営地下鉄三田駅下車、A7出 すぐ左隣

*裏面に地図

参加費：500円

問い合わせ:無実のゴビンダさんを支える会・事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 ハッ橋ビル7階 現代人文社気付

TEL: 080-6550-4669

<http://www.jca.apc.org/govinda/>